



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月31日

上場会社名 日本製罐株式会社  
 コード番号 5905 URL <http://www.nihonseikan.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 馬場 敬太郎  
 (氏名) 日野 剛健  
 TEL 048-665-1260

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,553	3.7	15	52.7	32	31.4	19	30.8
2019年3月期第1四半期	2,651	1.8	31	60.9	47	60.1	27	74.3

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 178百万円 (153.9%) 2019年3月期第1四半期 331百万円 (177.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	14.23	13.98
2019年3月期第1四半期	20.48	20.13

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	13,409	5,221	33.0
2019年3月期	13,850	5,440	33.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 4,421百万円 2019年3月期 4,630百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		30.00	30.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,198	0.0	57	5.6	75	20.2	48	21.3	35.44
通期	10,585	2.7	158	159.0	190	6.4	125	1.6	92.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	1,392,000 株	2019年3月期	1,392,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年3月期1Q	32,742 株	2019年3月期	43,442 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	1,351,233 株	2019年3月期1Q	1,356,508 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

以下の経営成績、財政状態に関する説明については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（追加情報）」に記載のとおり、組替え後の前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の数値を用いて説明しております。

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復が続くことが期待されております。

しかしながら、当社グループの主要顧客分野では、天候不順により食糧・油糧の在庫が積み上がり、受注が落ち込んだこととG20大阪サミットによる交通規制で子会社の6月末の出荷が大きく落ち込みました。

それに加え、通商問題による中国を中心とした世界経済の影響が徐々に出てきつつあると思われま

す。このような中、当社グループ（当社及び連結子会社）の当第1四半期連結累計期間の売上高は、2,553百万円（前年同期比3.7%減）、営業利益は15百万円（前年同期比52.7%減）、経常利益は32百万円（前年同期比31.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は19百万円（前年同期比30.8%減）となりました。

セグメントの概況は次のとおりです。

## ①金属缶製造販売事業

製品別売上高

（単位：百万円、%）

	前年同四半期		当第1四半期		前年同四半期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減比
18L	1,823	69.8	1,775	70.7	△48	△2.7
美術缶	639	24.5	620	24.7	△18	△3.0
その他	148	5.7	116	4.6	△31	△21.2
計	2,611	100.0	2,512	100.0	△98	△3.8

金属缶製造販売事業の売上高は2,512百万円（前年同期比3.8%減）、営業損失は5百万円（前年同期は11百万円の営業利益）となりました。

## ②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業の売上高は40百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は20百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は5,805百万円となり、前連結会計年度末に比べ97百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が13百万円、商品及び製品が12百万円増加し、電子記録債権が128百万円減少したことによるものであります。固定資産は7,604百万円となり、前連結会計年度末に比べ343百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が81百万円、投資その他の資産が269百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は13,409百万円となり、前連結会計年度末に比べ440百万円減少いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は4,789百万円となり、前連結会計年度末に比べ103百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が20百万円、未払法人税等が55百万円、未払事業所税が13百万円減少したことによるものであります。固定負債は3,398百万円となり、前連結会計年度末に比べ118百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が58百万円、繰延税金負債が69百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は8,187百万円となり、前連結会計年度末に比べ221百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、5,221百万円となり、前連結会計年度末に比べ219百万円減少いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が199百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は33.0%（前連結会計年度末は33.4%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月7日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	365,421	379,126
受取手形及び売掛金	2,473,726	2,477,484
電子記録債権	2,091,193	1,962,413
商品及び製品	122,600	135,002
仕掛品	119,036	119,266
原材料及び貯蔵品	683,277	684,365
その他	48,184	48,442
貸倒引当金	△824	△926
流動資産合計	5,902,615	5,805,175
固定資産		
有形固定資産		
建物	6,994,783	6,997,900
減価償却累計額	△4,532,088	△4,569,668
建物（純額）	2,462,694	2,428,231
構築物	421,894	421,894
減価償却累計額	△362,023	△364,030
構築物（純額）	59,871	57,863
機械及び装置	8,510,117	8,516,768
減価償却累計額	△7,599,153	△7,649,523
機械及び装置（純額）	910,963	867,245
車両運搬具	49,031	49,031
減価償却累計額	△49,031	△49,031
車両運搬具（純額）	0	0
土地	972,170	972,170
リース資産	8,880	8,880
減価償却累計額	△4,995	△5,272
リース資産（純額）	3,885	3,607
建設仮勘定	28,473	29,351
その他	666,162	671,300
減価償却累計額	△610,263	△616,898
その他（純額）	55,898	54,402
有形固定資産合計	4,493,957	4,412,872
無形固定資産		
ソフトウェア	72,302	67,917
ソフトウェア仮勘定	52,745	65,265
のれん	8,937	7,944
その他	1,923	1,923
無形固定資産合計	135,908	143,050
投資その他の資産		
投資有価証券	3,285,022	3,015,303
その他	32,875	33,240
投資その他の資産合計	3,317,897	3,048,543
固定資産合計	7,947,763	7,604,466
資産合計	13,850,379	13,409,641

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,252,516	3,244,598
短期借入金	20,000	—
1年内返済予定の長期借入金	972,325	968,885
未払法人税等	65,900	10,326
未払事業所税	18,447	4,611
賞与引当金	70,414	102,361
リース債務	1,198	1,198
設備関係支払手形	133,870	160,579
その他	357,485	296,520
流動負債合計	4,892,157	4,789,081
固定負債		
長期借入金	2,339,694	2,280,855
リース債務	2,997	2,697
繰延税金負債	968,813	899,187
退職給付に係る負債	139,785	149,927
役員退職慰労引当金	11,682	11,682
資産除去債務	14,434	14,484
その他	39,875	39,875
固定負債合計	3,517,281	3,398,708
負債合計	8,409,438	8,187,789
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	738,599	738,599
資本剰余金	245,373	245,373
利益剰余金	1,836,243	1,814,632
自己株式	△50,326	△38,096
株主資本合計	2,769,889	2,760,508
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,860,762	1,660,763
その他の包括利益累計額合計	1,860,762	1,660,763
新株予約権	38,455	26,786
非支配株主持分	771,833	773,793
純資産合計	5,440,940	5,221,852
負債純資産合計	13,850,379	13,409,641

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	2,651,533	2,553,167
売上原価	2,274,433	2,208,569
売上総利益	377,099	344,597
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	76,424	73,401
役員報酬	27,235	26,652
株式報酬費用	3,219	—
賞与引当金繰入額	11,237	8,169
運賃及び荷造費	130,832	129,473
支払手数料	23,833	23,532
減価償却費	9,100	8,308
のれん償却額	993	993
その他	62,460	59,038
販売費及び一般管理費合計	345,337	329,569
営業利益	31,762	15,028
営業外収益		
受取配当金	20,582	21,112
その他	2,993	3,126
営業外収益合計	23,575	24,238
営業外費用		
支払利息	7,374	5,936
その他	13	422
営業外費用合計	7,388	6,359
経常利益	47,949	32,908
税金等調整前四半期純利益	47,949	32,908
法人税等	15,259	10,267
四半期純利益	32,689	22,640
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,908	3,407
親会社株主に帰属する四半期純利益	27,781	19,233

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	32,689	22,640
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	299,078	△201,445
その他の包括利益合計	299,078	△201,445
四半期包括利益	331,768	△178,804
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	325,947	△180,764
非支配株主に係る四半期包括利益	5,821	1,959



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

①不動産賃貸事業に関する変更

当社の不動産賃貸事業について、従来、不動産賃貸収入は営業外収益、不動産賃貸費用は営業外費用、賃貸不動産は投資その他の資産に計上しておりましたが、当第1四半期連結会計期間からそれぞれ売上高、売上原価及び有形固定資産に計上する方法に変更いたしました。

この変更は、当社において不動産賃貸事業を主要な事業の一つとして位置づけ、事業運営の実態をより適切に表示するために行ったものであります。

この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度における連結貸借対照表の「投資その他の資産」の「賃貸不動産（純額）」723,895千円を「有形固定資産」の「建物（純額）」642,093千円、「構築物（純額）」22,207千円、「土地」56,939千円、「その他（純額）」2,655千円に振替えております。

また、前第1四半期連結累計期間における四半期連結損益計算書の「営業外収益」の「不動産賃貸料」39,743千円を「売上高」に、「販売費及び一般管理費」の「その他」1,889千円、「営業外費用」の「不動産賃貸費用」7,131千円、「賃貸建物減価償却費」10,305千円を「売上原価」に振替えております。

②棚卸資産の区分に関する変更

従来、仕掛品として計上しておりました印刷済大板について現在は外注先で印刷が行われて入荷されるため、当第1四半期連結会計期間から原材料に計上する方法に変更いたしました。

この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度については、連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度における連結貸借対照表の「流動資産」の「仕掛品」251,933千円を「流動資産」の「原材料及び貯蔵品」に振替えております。